

提出日 令和2年10月23日

視 察 報 告 書

一心会 赤塚 隆志

以下のとおり視察の報告をいたします。

1. 会派名及び視察者名： 一心会

赤塚 隆志、岩元 弘樹、黒木 優一

2. 視察先

令和2年10月16日（金） 13：30～14：30

都城市山之口町 山之口運動公園

「県陸上競技場等」建設予定地

3. 視察の内容

国民スポーツ大会に向けた陸上競技場の建設について、進捗状況と工事進行に伴う地域住民や環境に与える影響等を確認し、今後の政務活動に役立てること。

4. 視察の感想

本年7月より造成工事に着手された本件工事については、競技団体等との折衝や国、県との協議も進む中、いよいよ本格的に工事が進んでいくこととなった。都城市国民スポーツ大会準備室の担当者より、現在、旧山之口運動公園内の樹木の伐採、周辺土地の買収と造成、区域内における埋蔵文化財調査とともに、競技場内の土地の水平方向の造成が実施されている。工事全体としての進捗状況はまだ緒に就いたばかりなので、1割にも満たない状況ではあるが、大型重機の稼働など今後スピードアップが図られる状況で有った。また、大型トラックの往来による、近隣住民への安全確保や、今後の作業進展における騒音・振動、粉じん等のトラブルが予想される。

5. 視察の成果及び市政への反映等

前述したように、これから大きく工事が進んでいく事になるが、本県に於ける国民スポーツ大会の実施に間に合うよう、市当局の努力を期待するとともに、進捗状況を注視し、山之口町の地域発展と、地域住民の安全安心な暮らしの確保についても、最大限の努力を払うことが要求される。一心会としては、それらの状況について、今後もあらゆる角度から、本件工事について、調査・視察を重ね、よりよい競技場の完成に寄与するとともに、完成後の利用や、大会招致、有効活用に対する提言等を行っていきたい。また、工事進行

に伴う地域住民の安全確保やトラブル等への対応についても十二分に検討するように、会派として担当者へ要望した。

